学校番号	3005

令和５年度　建築科

教科	工業	科目	生産工学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	学校作成教材、「建築実習２」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

今まで学習した基本的な知識を掘り下げながら広げて行き、身近なところから段階を追って建築生産に関われるよう、建設業全体に興味を持ってください。

2　学習の到達目標

・生産工学に関する品質管理手法と建築積算の基本的な知識と技術を身につける。
・建設業界で必要な建築生産技術の意義や役割を理解する。
・資格試験にも対応できる知識と能力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築生産に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけている。	建築生産に関する基礎的な知識及び技術をもとに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決をめざして自ら思考を深め、適切に判断できる。	各種工法、工事監理、積算など建築施工に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割が理解できている。また、実務的な技術や技能について人に分かるように伝えることができる。	建築生産に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、創意工夫する能力を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 ノート等の記述 発表・発言	学習状況の観察 定期考査 ノート等の記述 発表・発言	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言	学習状況の観察 定期考査 レポートの記述 発表・発言

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 ～ 7 月	建築積算	・建築生産全体にたずさわる人々 ・建築生産の流れ ・建築積算による地盤、仮設工事、土工事、山留工事に関する計算の習得	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:建築生産について関心をもっている。 b:建築生産の一連の作業を分析し、建築積算と施工手順を適切に判断できる。 c:建築積算の知識とその技術を活用し、建築物の安全性に対して合理的に考えることができる。 d:建築積算を通して、安全かつ経済的に建築施工できる知識を身につけている。	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言 定期考査
8 ～ 2 月	各種構造における工事の積算	【品質管理の基本的知識】 ・品質管理の基本 ・品質管理手法 ・品質検査 ・各種材料の保管 【鉄筋コンクリート構造における積算】 ・基礎工事全般 ・躯体工事全般 ・鉄筋の溶接 ・外部仕上面積 ・内部仕上面積 【鋼構造における積算】 ・基礎工事全般 ・躯体工事全般 ・接合部の溶接 ・接合部のボルト数 ・スラブ ・耐火被覆容量 ・内外仕上面積	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:品質管理について関心をもっている。 b:各種構造の建築積算を使用して骨組工事に関する基礎的な技術を習得するとともに基礎工事の工法を観察し、実際に活用･表現できる能力を身につけている。 c:各種構造について建築積算を使用して合理的に建築コストを考えることができる。 d:各種構造に対して安全かつ経済的な実務コストに適応する知識を身につけている。	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解